

# 平成29年度 事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会  
(施設名) グループホーム草原の風

## 目次

I	はじめに	1
II	利用者状況	1~2
III	個別事業報告	2
	1. 事業の取り組み	2
	2. 課題、次年度への提起	2~3
IV	健康、食の管理	3
V	ホーム内外におけるトラブル・苦情対応	3
VI	防災関連	3~4
VII	職員処遇	4

I はじめに

29年度は、冬厳しい年で特に1月、2月は気温が低く連日のように-8度以下の気温が続き積雪もあり、対策を取っていたが例年ない寒さで水道管が、凍り水が出ずお風呂場のお湯が使えず何日も生活に支障きたした。

そうゆう中で一番気を配ったのは、健康面で、利用者さん方々の体調管理を強化してきた。心配したインフルエンザも発熱等があったが、マスクの着用や、こまめなうがい等声掛けする事で、風邪症状は大事に至らなかった。高齢化が進む中、健康管理に気を配り安心して作業、生活ができるよう世話人と日中活動事業所職員とで相談しながら協力し取り組んできた。

II 利用者状況 (平成30年3月末現在)

定員27名に対し今年度(3月末)は、25名でした。現在の利用状況は、以下の通りとなりました。

平均利用者数 21.33名      年間平均利用率 91.25%

グループホームの利用者数は、昨年より1%ほど下回った。年度後半なって転倒によるけがでホーム利用ができず自宅で過ごされた方1名、入院された方1名でした。次年度は、ホーム利用者数を定員に達するよう務めると共に利用者さんのニーズに沿った住みよい環境づくりを強化し支援して行きたいと思えます。

新規利用者及び退所者の状況 (男性21名 女性4名)

新規利用者：4名      退所者：4名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
新規									1		3	
退所		2					1	1				
利用者数	25	23	23	23	23	23	22	21	22	22	25	25
入院	1											

本年度の新規利用者は、4名入居であった。自宅通勤より1名入居、一般入居からグループホームへ3名あった。退去者は、4名で退去の理由は、他施設へ移られ2名退居、長期入院による退居者1名、病気死亡による退居者1名であった。

利用者年齢別状況

年齢	知的		身体		精神		計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～30	2	1			1 (1)		3	1
31～40	4 (2)		1		2 (1)		5	
41～50	1		1				2	
51～60	5 (2)	3 (2)	7	3	3 (3)		10	3
61以上	2				1 (1)		2	
計							21	4

※ ( ) 重複されている方

Ⅲ 個別事業報告

1・事業の取り組み

管理者1名 サービス管理責任者1名 世話人3人(兼務)

利用者さんのニーズをもとに支援計画を作成し、地域生活をよりよく過ごせる為の支援をおこなってきた。

社会生活を送る上での情報の提供や個々の悩みや希望などの相談といった支援に取り組み生活における身の回りの支援については、声かけ、助言相談し入浴・洗濯・掃除等の苦手な事に対しては、繰り返し助言し必要に応じては一緒に行い本人への意識を高めるよう支援した。

金銭管理については、利用者さんと話し合いお金の使い方等を共に考え収支のバランスを説明し金銭管理をおこなった。又買い物支援など同行し、利用者さんから大変喜ばれた。

2・課題・次年度への提起

本年度は、グループホームの利用が上期と下期で出入があり、最終的に利用者数は変わりなかったが月の個人の利用率が上がっていた為、昨年と比較して下記の表からも支援費が昨年を上回った。

草原の風 3ヶ年収入推移 【平成27年度～平成29年度】

	自 立 支 援 給 付 費
平成27年度	¥13,001,490
平成28年度	¥12,256,302
平成29年度	¥12,533,910

次年度に於いては、2室の空室がある為各市町村、医療機関、支援学校等との連携を強化し満室を目指す。

又利用者のニーズをよく聴きモニタリングを行っていき、利用者に満足が得られる様、サービスの質の向上に努めたい。

#### IV 健康、食の管理

健康面では、だんだん高齢化していく中、利用者さんの体調や精神状況の変化に特に気を配り利用者さんが安心して生活が送れるよう医療機関等との連携を行い緊急時の対応に努めた。

食の面では、バランスの取れた献立、量の管理、間食などの取り方など病気につながるよう話し合いながら、助言支援をおこなった。利用者の皆さんには日頃より、肥満につながるようなるべく適度な運動を心がけるよう声かけして来た。余暇の過ごし方に於いては、居室に困りがちである為、外に出て散歩などを行うよう声かけ助言を行った。

#### V ホーム内外におけるトラブル・苦情対応

ホーム内では、ルール等を設けてあるが、なかなか守れず利用者さん同士のトラブル施設外での問題行動による苦情等が発生したが、日中活動事業所との連携により問題解決、苦情対応に努めた。問題行動の多い利用者さんに対しての見守り、助言を強化し新しいルール等の取り入れなど、トラブルの再発防止に務め利用者さんの認識を再確認し問題解決に繋げた。今後もこのような状況に対応できるよう、職員の質の向上に努めていきたい。

#### VI 防災関連

本年度も緊急時に備えて防災マニュアルをもとに非常時を回避できるよう、避難訓練や設備の管理等、及び火元の管理などの強化に努めた。

毎年の施設での非難訓練に伴い、グループホームでの安全確保のために本年度も8月と2月にホーム内の自主安全点検を行い防火設備の整備に努め非常時の安全と避難誘導経路の確認を行い、利用者さん、世話人の防災意識の向上に努めた。

- ・ 防災マップの再確認
- ・ 避難訓練の実施
- ・ 再発防止に向けたマニュアルの策定
- ・ 避難通路の確保
- ・ 消火設備の点検及び交換
- ・ 非常食の確認
- ・ 退勤時の点検

## VII 職員処遇

日中活動事業所との合同職員会議、ケース会議等を行いその中でグループホームでの状況報告を行いA型、B型事業所での利用者さんの作業の様子など聞き支援に役立てた。世話人同士の申し送り等を密にし、報告、連絡、相談等を速やかにし情報の伝達ミスのないよう行ってきた。

実務に役立つ各研修や講習会などにも積極的に参加し従事者のサービスの向上を図り適切な支援につながるよう努めた。